
第 2 次 中 長 期 計 画

見 直 し 調 書

課題

会員の増強計画（女性会員拡大）
会員健康管理講座等の開催
会員意識向上に向けての講座開催
新入会員研修時のあり方検討
事業参加意識の向上のための啓発
会員表彰のあり方検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・女性部を設置したが、その機能が充分果たされていないことから、基本理念等の研修や組織の充実強化などの基盤整備を図ってきた
- ・年4回の市内全戸配布のチラシに会員募集の内容を積極的に掲載
- ・平成13年度会員教養講座において医師による健康管理講演会を開催
- ・「シルバー人材センター事業理念」等をテーマとして、平成14・15年度にそれぞれ会員教養講座を開催
- ・新入会員の入会システムを変更、月1回の説明会及び研修会を開催し、統一的手法による新入会員研修方式を構築した
- ・会員証を切替、発注者等に会員の身分を明らかに出来る顔写真入りとした
- ・表彰等に関する規程における就業会員表彰のあり方について見直しを図った

今後の計画

女性の視点と行動力を活かした事業展開を行なう
在会会員に対してフォローアップ研修を行い、会員意識の強化と周知徹底に取り組む
会員の自主性を尊重し十分に生かせる事業運営を行なう
加齢のため就業は困難であるが、組織の一員として在会を望む会員への対応策（OB会員制または協力会員などに移行など）について検討する
就業会員の表彰制度について、長期就業につながり、適正就業推進に逆行している点があることから、見直しを図る
団塊の世代の高齢化に伴い、多様化する就業ニーズ等に対応するため、入会のあり方について再検討する

課題

地区懇談会の出席率向上対策の検討
地域委員の育成と研修会等の開催
魅力ある組織づくりの検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 地域代表委員の学習会を毎年開催、地域班の機能強化や地区懇談会のあり方等について検討
- ・ 地域班活性化推進検討会を設置
- ・ 理事会、事務局とのパイプ役として活動
- ・ 会費徴収や地区懇談会を開催
- ・ 地域委員が地区会員内でスムーズに交替できる体制を推進
- ・ 地区懇談会の積極的な参加を促すため、会報や事務局だよりを通じ啓発を行なった
- ・ 国の高齢者対策事業である地域社会参加促進事業を地域を核に推進してきた

今後の計画

地域委員がセンター理念に沿った責務と活動意義について正しく理解できるように研修の機会を充実させる
地域委員が核となり地区会員の現状把握と意識啓発をより強く図れるようにする
地区会員の連携強化を図る
地区懇談会の出席率向上対策について引き続き検討する

課 題

班組織のあり方について検討
職群委員・班長世話人等の育成・研修の実施
活動助成のあり方について検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 職群委員会を毎年開催、職群班組織の強化や助成のあり方等について検討を図った
- ・ 各職群ごとの就業マニュアル作成に努めた

今後の計画

多様化する発注者ニーズと会員の就業ニーズ等に対応するため、希望職種を共有する会員グループ等の育成を検討する
職群班活動を円滑かつ活性化するために職種ごとの組織の確立と強化を図る
職群班助成制度について公平な助成システムを堅持しつつ、より活発な活動を支援できるよう内容の再検討を行なう

課題

安全意識高揚のための講習会等の開催
交通安全講習会への参加要請
組織ぐるみの安全対策強化
自動車賠償責任法に基づく運行支配権問題への対応

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・安全対策委員会において年間安全適正の推進計画を策定、計画的・継続的な活動の推進を図った
- ・救命・防火講習会を毎年開催
- ・交通安全講習会を年2回開催、自動車運転シミュレーションによる運転適性検査を実施
- ・職群から選ばれた安全対策推進員を通じて安全用具や保安用具の活用徹底を図った
- ・適正就業検討委員会を設置、安全上不適正な就業の是正と未然防止を図った
- ・ワークシェアリング及びローテーション就業等の徹底を図った

今後の計画

公用車及び会員私用車使用による交通安全規則の整備制定を図る
会員の就業実態を把握し安全かつ適正な就業基準の見直しと周知徹底を図る
会員の安全に関する自己啓発を促し、自己管理能力強化を図る
「安全は全てに優先する」
賠償事故に対する会員の責任意識の徹底化を図る

項目

会報編集委員会

課題

会員の意向を反映した情報提供
互助会への移行を検討する

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 設立二十周年記念事業として実行委員会と連携し記念誌を発行、センターの歩みや活動内容などが詳しく掲載された
- ・ 全会員を対象に編集委員を募集、新しい委員から斬新なアイデアや編集方法が提案された
- ・ 発刊80号記念誌を発行、センターの歴史や関係者の回顧・所感などを中心に掲載された

今後の計画

会員自主運営の原点である会報「銀の鈴」の発刊について、会員自主活動組織である互助会への移行を検討する

課題

就業開拓の促進
職種転換を含む技能講習受講の奨励
仕事の公平、適正配分及びローテーションの推進
発注者とのトラブル防止
箕面新都心の開発に伴う新たな就業先の開拓

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・就業開拓推進チームを設置、会員による地域密着型の就業開拓活動を実施
- ・ホワイトカラー就業機会開発員を設置し、就業希望の多い事務系職種の就業機会拡大を図る
- ・ミスマッチ解消に向けて事務局だより等を通じ、全会員対象に希望職種の再調査を行なった
- ・未就業会員全員に電話による個別実態調査及び地域ごとの出張就業相談会を行なった
- ・役員による会員就業相談を実施
- ・施設管理就業会員を中心に接遇及び人権研修を行い会員意識の高揚と市民サービスの周知徹底を図った
- ・訪問介護事業所として大阪府知事の指定を受けた

今後の計画

ワークシェアリングとローテーション就業の推進により適正就業の徹底に取り組む

ホワイトカラー層の就業機会拡大を図る

発注者や市民の求める仕事とサービスの水準を把握し、満足される市民サービスの標準化を図るため、技能向上及び道德モラルの徹底化を行なう

積極的な就業情報の提供と公平な仕事の配分を推進する

箕面新都心の開発に伴い新たな就業先拡大に向けた積極的な就業開拓活動を展開する

NPO法人と競合しないよう配慮した運営に努める

公共の施設管理について「指定管理制度」にも考慮する

国及び社団法人全国シルバー人材センター事業協会において検討されている「労働者派遣事業」組織について検討を行なう

項目

配 分 金

課 題

配分金の振込手数料有料化に伴う対策を検討
配分金単価の見直しを検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

・配分金のあり方について、配分金検討担当理事を中心に一般的市場水準や府の最低賃金等を考慮の上検討を図った

今後の計画

配分金振込手数料の有料化により、その負担先、負担割合等について検討する
チラシ配布など民間企業の水準を大きく上回る配分金設定については是正する
民間事業者の営利活動を阻害しない範囲などに考慮した適正な配分金単価へ見直しを図る

会員の就業能力について著しく差のある職種については、その能力に応じた配分金単価設定を検討する

項目

就業率・就業延べ人員の増強

課題

就業機会の拡大と就業意欲向上の対策を検討
未就業会員の対策検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ワークシェアリングとローテーション就業の徹底により、平成14年度就業率は飛躍的に伸び、全国平均を上回った。
- ・各職群ごとの就業マニュアル作成に努めた

今後の計画

高水準の就業率を維持するための具体的方策を検討する
介護保険、訪問介護事業の就業開拓を行い就業機会拡大を図る
ワークシェアリングの推進等について適正就業検討委員会において検討を図る
地域ごとに未就業会員への就業説明会を開催する
加齢等により就業は困難であるが、センターに協力を望む会員への対応策として、協力会員（仮称）を創設し、いわゆるOB会員制度の確立に向けた検討を行なう

項目

契約実績

課題

会員の資質・技能の向上
地域ニーズの把握
ミスマッチの解消

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 就業開拓推進チームによる地域密着型の就業開拓活動を実施
- ・ 国の緊急雇用対策事業等により公共からの受託実績を拡大
- ・ 受注件数は順調な伸びを示したが、平成14年度受託事業費は僅かではあるが初めて対前年度比を下回った

今後の計画

会員意識の向上と技能付与講習の充実を図り、会員の知識・技能の向上を図る
就業開拓推進員からの訪問調査票を活用し、市民や民間事業者の市場ニーズについて調査を行なう

ミスマッチ解消に向け、引き続き希望職種の拡大や変更を奨励する

国の緊急雇用及び市の高齢福祉対策によることなく、堅実な事業実績の向上を図るため、箕面新都心やコムアートなど変わり行く経済状況を見据えた新しい市場ニーズに対応していく

会員意識の向上を図り、地域から望まれる組織づくり

NPO法人と競合しないよう配慮した運営に努める

公共の施設管理について「指定管理制度」にも考慮する

課題

就業機会の拡大
ホームページ開設
P R方法の充実

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・箕面まつり参加や会員作品展開催など機会あるごとにセンター事業のP Rを図った
- ・市広報紙やラジオ放送(みのおFM)を通じセンター事業の紹介やP Rを行なった
- ・会員によるボランティア清掃活動を毎年実施し、シルバーの普及啓発につなげた
- ・シルバーの日が制定(全国組織)されたことに伴い、これに併せた普及啓発活動を実施した

今後の計画

ホームページを開設し、より積極的な普及啓発を図る
近隣センターと協力した広域的な住民参加型のイベントを開催し、これを通じてシルバーを地域により正しく理解されるよう努める
シルバーの認知度が比較的低い、若年層を中心に事業内容が正しく理解されるような啓発活動を推進する

項目

シニアワークプログラム事業

課題

各種講習会への参加奨励
経験・知識・技能等に応じた段階的な講習会の開催

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

《SP第1種事業》

連合と連携して実施したSP第1種事業においては、訪問介護員2級・3級資格取得者を積極的に輩出、修了者を対象に技術向上を目的としたフォローアップ研修を実施した

また、ハローワークと連携し再就職に向けた講習会として「シニアホテルスタッフ」「マンション管理員」「病院給食調理補助員」「社会保険労務補助員」等の講習を行なった

《SP第2種事業》

段階的、継続的な就職・就業に必要な知識と技能を付与することを目的とした同講習会は、年間延べ1,800人日以上の受講実績があった

今後の計画

連合と協力しつつ、地元企業に対しても人材PR活動を行ない再雇用先確保に努める

会員の就業ニーズと発注者の需要のバランスに考慮した講習会を計画的に推進する

会員の経験・知識・技能等に応じた段階的プログラムについて充実化を図る

項目

独自事業

課題

会員の意向に沿った独自事業の開発
販売ルートの拡大
後継者の育成

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 府外郭団体の宿泊施設や民間施設などの販売ルートを確保した
- ・ 緑のリサイクル事業でかぶと虫養殖に成功、購入層の拡大等に伴い売上が増加した

今後の計画

竹炭・竹酢液の品質検査を行い高品質の維持に努める
インターネットを通じ全国にPR、ネット販売等も検討する
需要と供給のバランスや利益率を考慮した付加価値の高い製品の開発に努める
社会性・地域性・採算性が見込まれる新たな独自事業として、「高齢者活游子育て支援・異世代間交流学習事業」及び「家庭料理の普及と健康促進のクッキングアドバイザー事業」の開始にむけた準備を図る

項目

会員作品展の開催

課題

表彰のあり方について検討
参加意欲の向上を図る
新たな開催場所について検討する

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・平成13年度より表彰制度を廃止
- ・平成13年度会員作品展を「設立20周年記念事業」として開催した
- ・平成14年度会員作品展を「新施設移転記念事業」としてふれあい就労支援センター竣工式（本センター開所式）と併せ新施設で開催した

今後の計画

作品展本来の開催趣旨、目的に沿った開催方法等を考慮し、今後の開催について検討する

作品展及びアンテナショップの運営について互助会組織への移行を検討する

《会員作品展の開催趣旨》

「会員の技術の発表の場として地域にPRを行い、就業機会の拡大につなげる」

項目

同好会活動

課題

就業につながる同好会活動の検討
地域に役立つ組織の検討
同好会のあり方と指導者育成

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・平成15年現在、10同好会、延べ260人の会員が活動している
- ・就業につながる同好会が設置された（クラフト同好会、パソコン同好会）

今後の計画

互助会組織への移行を検討する

項目

会員研修親睦旅行

課題

研修旅行のあり方について検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

実施状況

年度	日程	行き先	参加者数	実施時季
13年度	一泊二日	愛媛県「道後温泉」	108名	11月下旬
	日帰り	三重県伊勢方面	95名	3月上旬
14年度	一泊二日	和歌山県南紀勝浦	86名	2月中旬

- ・平成14年度の参加者を対象に「研修親睦旅行」に関するアンケート調査を実施し、参加された回数、目的、負担金の額、場所、季節及び日程等についての意見集約と分析を行なった

今後の計画

負担金のあり方について検討する
研修親睦旅行の実施方法について再検討する
互助会組織移行について検討する

項目

互助会の設置

課題

設置検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 互助会を設置しているセンターから情報収集を行なった

今後の計画

会員主導型運営の一環として、会員主導の組織である地域班を核とした「会員互助会組織」を平成18年度目標に確立させる

同好会活動、会員作品展、親睦旅行、会報の発行及びボランティア活動については、会員主導型運営を推進するため、互助会組織への移行に向けて検討する

項目

理事会・専門部会

課題

役員研修のあり方について検討
理事が責任を持って行動できる組織づくりを行なう

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・担当理事制により、さらに専門性が発揮できる体制づくりを図った
- ・理事による就業相談を実施した
- ・理事主導による専門委員会を設置して組織強化を図っている

今後の計画

役員研修のあり方について再検討するとともに、センターの基本理念、役員の職責及び役割について理解を深めるための研修を定期的実施する
入会手続き・会員研修などを理事の責任主導のもとで行なう
役員が安心して運営に専念できる体制を維持し、責任ある体制の整備に考慮した、新たな総合賠償責任保険の加入について検討する
評価制の導入について、市と外郭団体の「経営改革計画」理事者協議で出される「経営健全化チェック」をもって評価を受ける方向で検討する

項目

施設

課題

新施設への移転
施設の有効活用を図る

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・平成14年11月に新施設「ふれあい就労支援センター」に移転した

今後の計画

他の入居団体との連携強化と施設の有効的な活用を図る
会員数の増加に伴い、東部地域の利便性向上のため、東部地区事務所及び作業所の充実と機能強化を図る

項目

財政（補助金・会費・事務費）

課題

箕面市補助金のあり方について協議
補助金要望活動の実施
会費のあり方について検討
事務費のあり方について検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・ 新たな国庫補助事業について、積極的に実施することで新たな事業補助を得た
- ・ 会費の額について見直しを図った
(会費：～平成14年度600円、H15＝1,000円、H16～2,000円)
- ・ 事務費の額について、自主財源検討委員会において現在検討を行なっている
- ・ 独自事業の販売ルート拡大に伴い製品の売上が順調に伸びている
- ・ 新規の独自事業実施に向けて準備を図っている

今後の計画

契約実績向上に向けて努力する

財源の根幹である補助金（国・府・市）について、行政や上部団体に正しく理解いただくよう努力しつつ、引き続き一定のルールに基づき支援を受けるよう要望していく

自主財源確保に向けて、訪問介護事業及び独自事業の強化を図るとともに、賛助会員制度や特定公益増進法人・互助会制度について積極的なPRを行なう

課題

事業量の増大に合わせた事務局体制の充実
事務の合理化・簡素化の推進
新たな会計事務等の電算化の構築
会員の意向に沿った事業展開の推進
介護保険事業への参入
評価制度の導入検討

現状と当初3ヶ年の取り組み経過

- ・事務局組織について総務・業務の2課制に加えて訪問介護事業所を設置して、組織の強化を図った
- ・平成13年度より新シルバーシステムを導入、経理及び業務のより進んだ効率化を実現した
- ・介護保険法に基づく訪問介護の実施について、府知事指定を受け平成15年10月1日からの事業開始に向け取り組みを行なった

今後の計画

市派遣職員に替わって職責を担えるプロパー職員の資質向上に努める
職員一人ひとりがプロ意識をもって自己研鑽に努める

関係資料集

箕面市人口の推移・推計

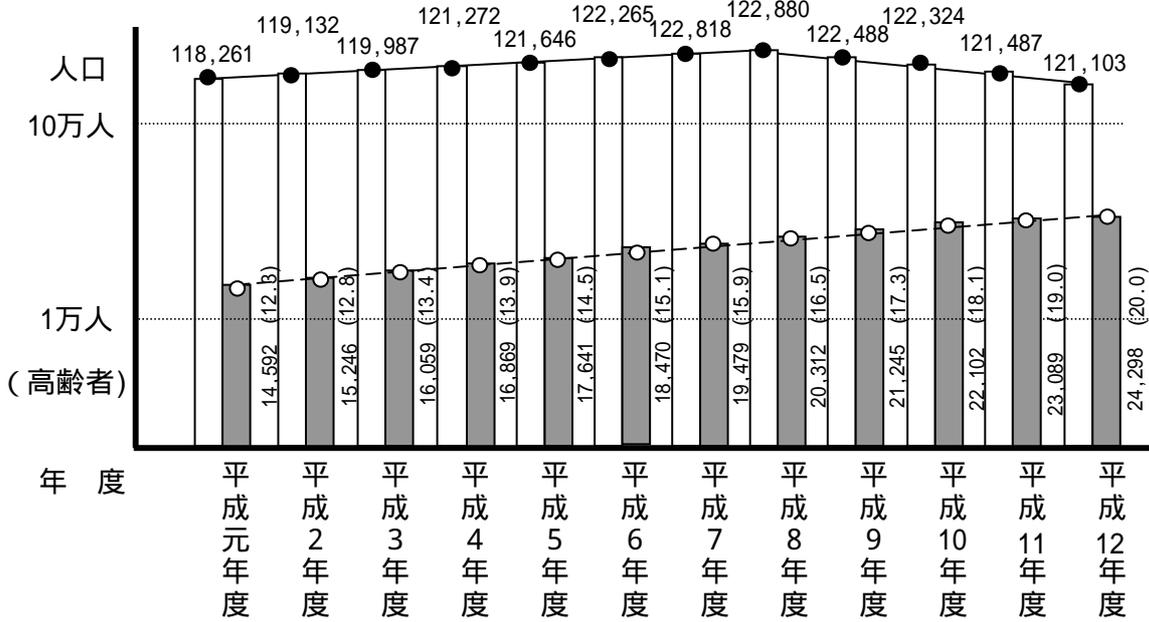
会員数の推移・推計

契約金額の推移・推計

会員就業率及び就業延べ人員の推移・推計

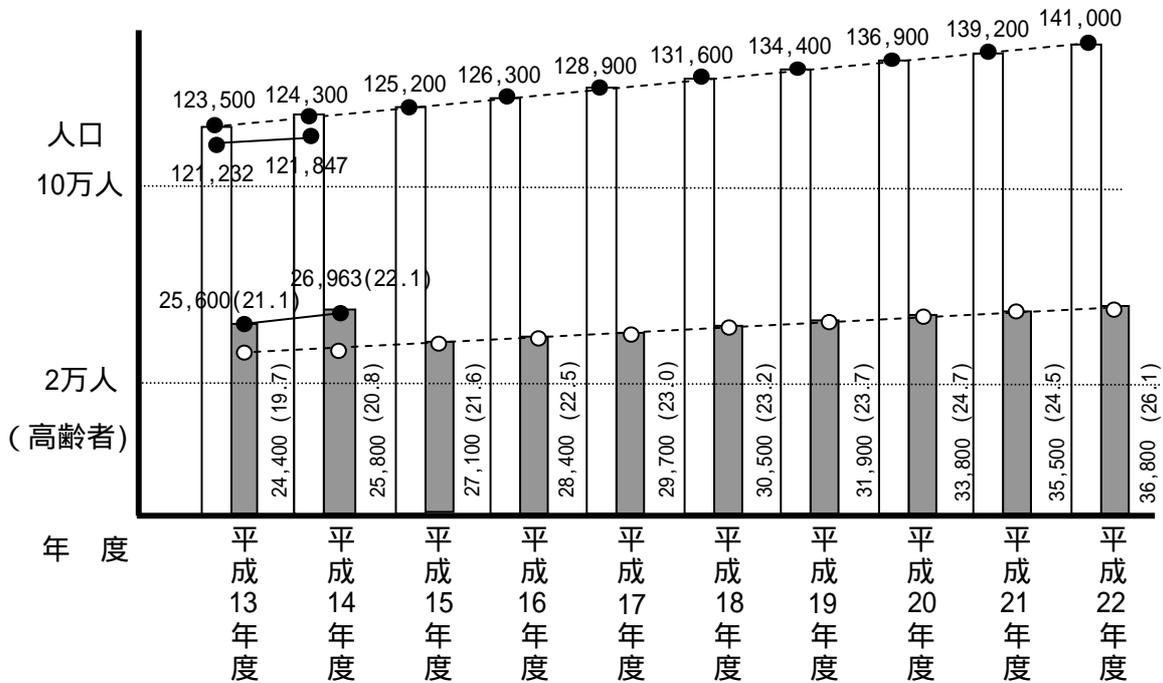
箕面市人口の推移・推計

1. 箕面市の人口及び高齢者(60歳以上)人口の推移



注 1. 人口は住民基本台帳人口
2. 網かけは高齢者人口 ()は比率%

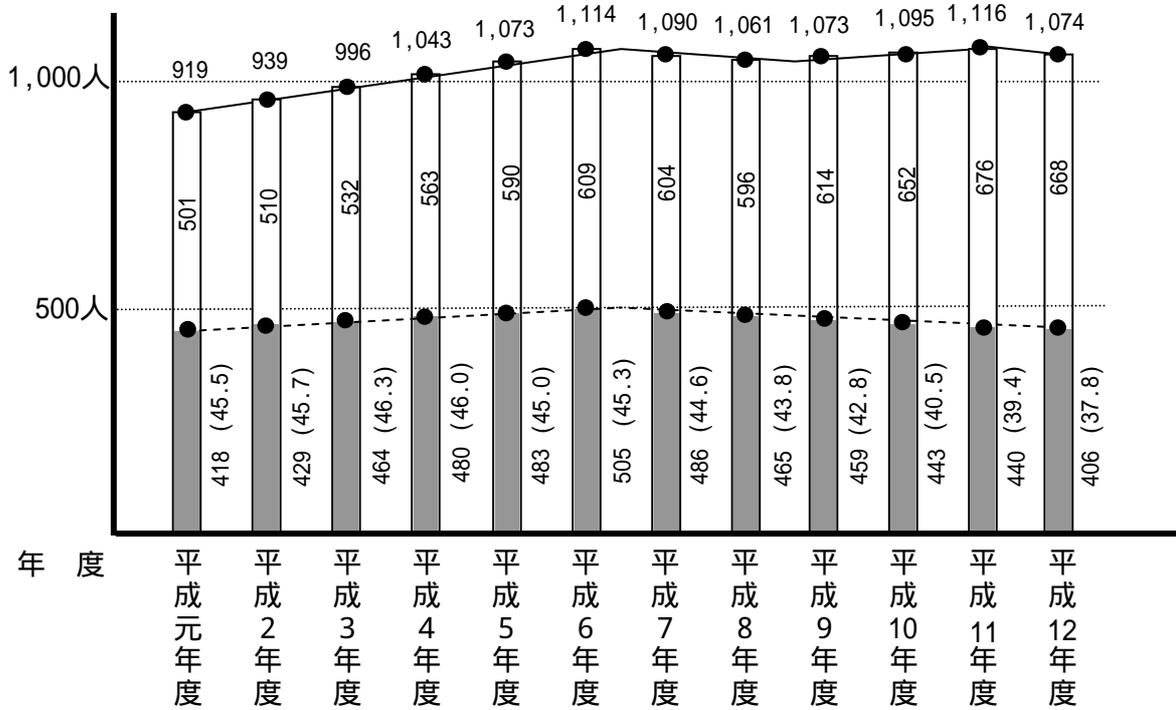
2. 箕面市人口及び高齢者(60歳以上)人口の将来推計



注 1. 人口推計は箕面市総合計画人口138,000～144,000人の中間人口とし、外国籍市民を含む
2. 網かけは高齢者人口 ()は比率%

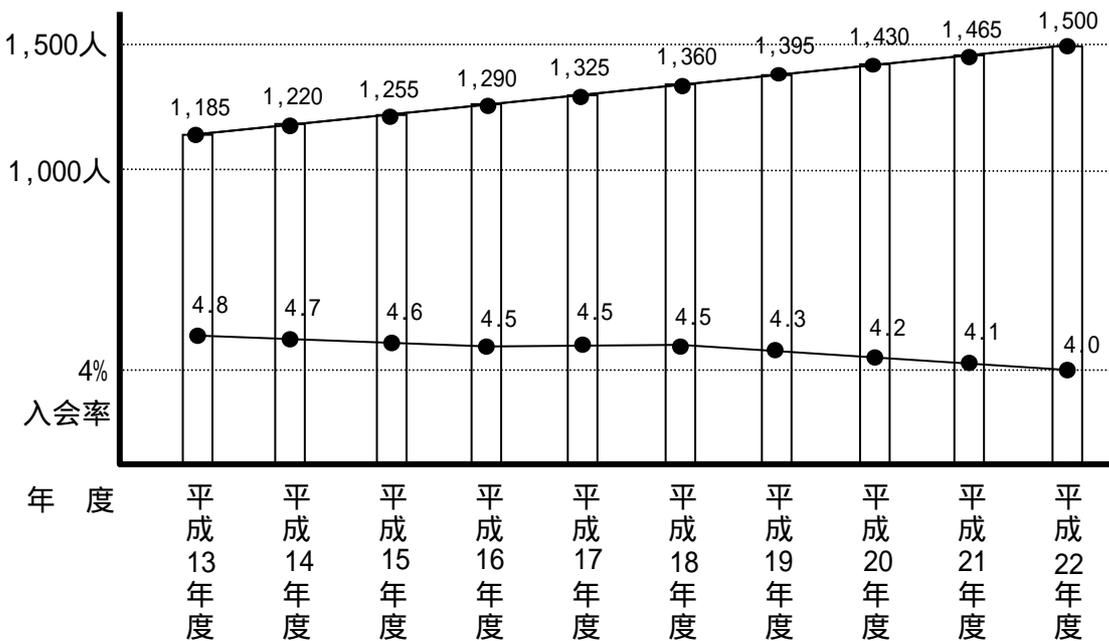
会員数の推移・推計

1. 会員の推移



注・網かけは女性会員数 ()は比率%

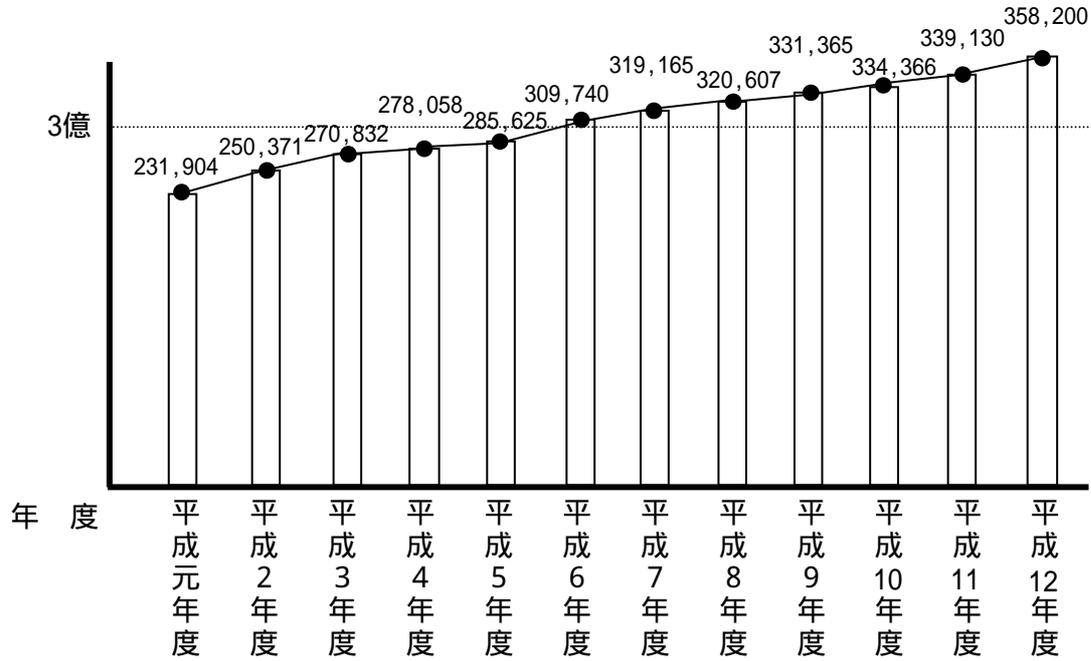
2. 会員の将来推計及び粗入会率



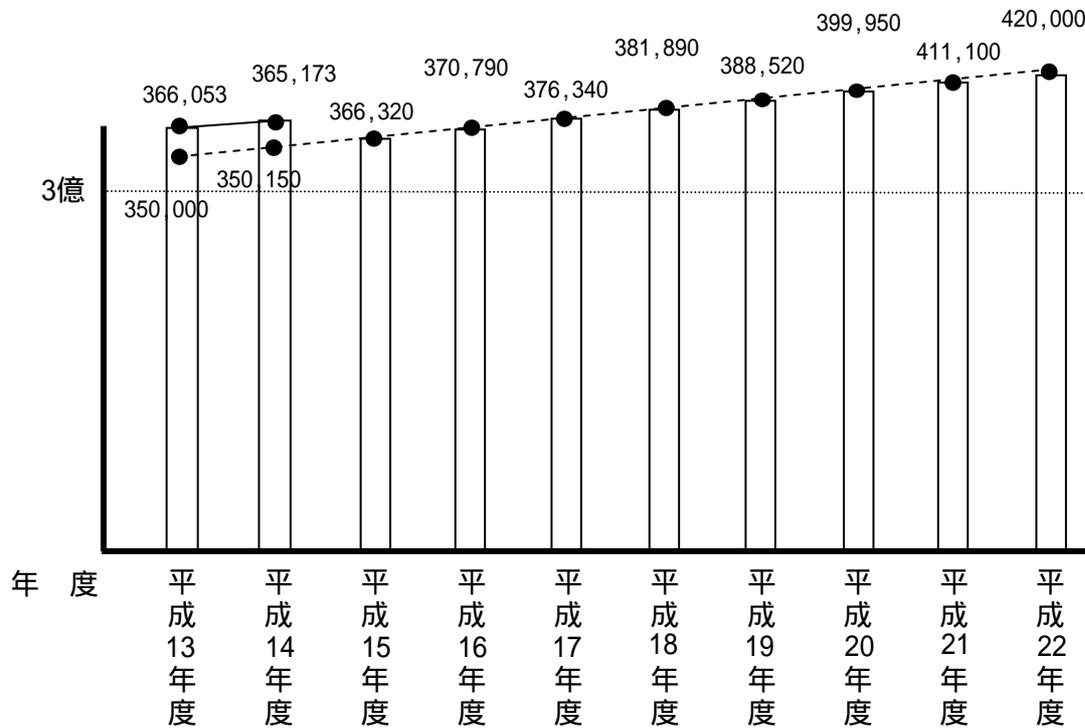
注・入会率は60歳以上の市民が会員となる率

契約金額の推移・推計

1. 契約金額の推移 (単位千円)

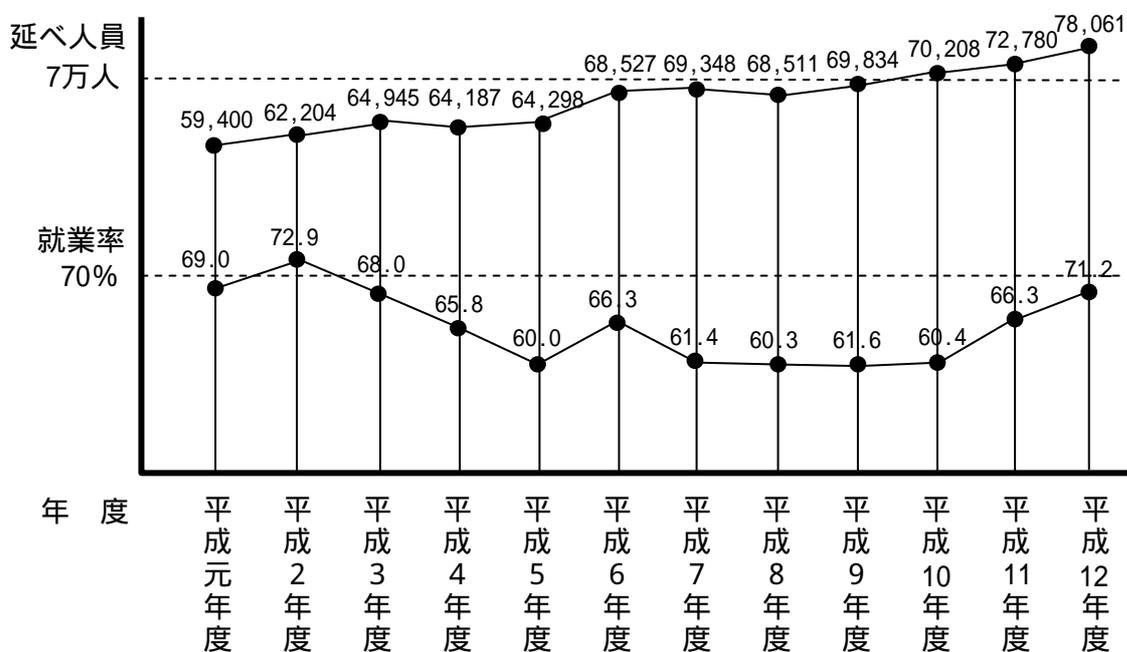


2. 契約金額の将来予測 (単位千円)



会員就業率及び就業延べ人員の推移・推計

1. 会員就業率及び就業延べ人員の推移



2. 会員就業率及び就業延べ人員の将来計画

